

1989 年に国連で採択された「児童の権利に関する条約」は、子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約です。その一般原則に「生命、生存及び発達に対する権利（命を守られ成長できること）」とあります。生命維持と食べることは直結しています。私たちは子どもたちの人権を守っていく責任があります。私たちができることを一人ひとりが行うことで多くの子どもたちが救われます。私たちも引き続き、子どもたちの人権を訴えていきます。皆さんが自分ごととして人権意識を高く持ち考え行動することを願います。



飢えに苦しむ県内の子ども達に支援の手を

空腹をがまんして過ごす子ども達が増加傾向に

近ごろ、コロナ禍の長期化や深刻化により、親が失業したり雇い止めになったりして生活が一層困窮し、子どもに満足な食事を与えられない世帯が増えているようです。そうした中、山梨県内の生活困窮家庭に食料支援を行っている認定 NPO 法人フードバンク山梨が今年5月に「乳幼児応援プロジェクト」の支援世帯（→未就学児を育てる生活困窮家庭）に対して行ったアンケート調査を通じて、その深刻な生活実態が明らかになりました。

「一カ月の月収が10万円以下」と回答した方が62%。 その中には、「上の子に障害があり時間に左右されることが多くフルタイムで働けないので、ひと月の収入は10万円を満たないです。」との回答もありました。

「空腹をがまんして長時間過ごすことが週に1日以上ある」と回答した方が43%。 或る母親は、「私は1日1食、粉ミルクやオムツにお金を回していますが、このままでは私自身が子育てをしていけるか不安でたまりません」と記しました。

「ミルク(赤ちゃん用)やオムツを買えなかった経験がある」と回答した方が29%。 なかには、「オムツを使いまわしたり、長時間オムツを変えなかった」など、声を上げることのできない乳幼児にとって厳しい生育環境となっています。

子どもの健全な成長のために、食料のご寄付を

私ども「横浜国際人権センター・山梨ランチ」は、山梨県内で暮らす人すべての健康維持や子どもの健全な発育に必要な生活環境(衣・食・住)を保証される郷土づくりを支援していきたいと願っています。本来であれば、行政(国・自治体)が、日本国憲法(第25条)の掲げた“生存権”(すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する)を確実に保証すべきです。しかし、究極のセーフティネットである生活保護制度にしても、実際に利用できているのは、同制度の基準所得を下回る生活困窮世帯の数分の一以下にすぎません。

先述のフードバンク山梨によると、昨年度実施した「コロナ禍緊急食料支援」の対象世帯は延べ3711世帯。他の通常支援と合わせ、前年の約2倍の延べ1万593世帯に食料を届けた、とのこと。しかし最近、急激な食料配布量の増加(昨年は年間で184,282kgを配布)に対して、寄付される食料の確保が追いつかなくなりつつあります。

＜フードバンク山梨への寄付＞

賞味期限まで2カ月以上ある常温保存食品(例:米、乾麺、缶詰、レトルト食品、菓子類など)
送付先:〒400-0214 南アルプス市百々3697-2 フードバンク山梨(TEL・055-298-4844)
又は県内の「いちやまマーケット」内の「きずなBOX」に、店内で購入した食品の一部を寄付

＜県内34店舗のファミマ・フードドライブへの寄付＞

ファミリーマートで食料の寄付を受付、県内の子ども食堂などの支援団体に提供

活動報告

- 人権啓発講演会 8月8日(水)、甲府市水道局にて人権啓発講演会を開催しました。
- 人権啓発パネル展 8月11日(水)～8月16日(月)、甲府市立総合市民会館において、「命のメッセージ展」と題して人権啓発パネル展を開催しました。
- 人権啓発映画会 8月14日(土)、甲府市立総合市民会館にて、人権啓発映画会を開催しました。

今後の予定

- 人権啓発パネル展 9月9日(木)～9月22日(水)、甲府市東公民館、甲府市西公民館
- 人権移動教室 9月10日(金)、甲府市立大里小学校



人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

協賛企業：(株)成心設備、西関東開発(株)、(株)ウィルマート、(株)R&C、(株)フジコー、(株)渡辺工業所、甲府市管工事協同組合

＜協賛＞
山梨県
甲府市
甲斐市

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲府市立東小学校 (六年生女子)

甲府市立東小学校 (六年生女子)

私が 今回の学習について思ったことは、自分の命と幸せを守る為に、まずは自分か人のために何かをする、ことです。それで私は、人に、人のために、なにかをすれば、自分だ、て心が幸せになれると思います。人に優しくして、自分がいやになる人はいないと思います。みんな一人一人ちがうから、一人一人ちがう自分なりの幸を見つけていいと思います。今回のビデオの世界の戦争や、生活に苦しんでいる人達のことを知って、自分だけがこれだけ恵れたかんさうにいるのかかわかりました。世界の人々が思っている「死にたくない」。幸せになりたい。というのは、まちがってないと思いました。だけれって死にたくないし、幸せになりたいけど、日本でも世界でも、幸せになっっている人は少ないと思いました。世界のそんなねがいを、少しでもかなえられるように、私達にできることがあるたらや、ていきたいと感じました。

私は人権を最初は人の権りについてだと思っっていました。でも今日の話を聞いて人の願いは「しないこと、幸せになること」で、一歩外をみるとそこには、私たちのあたり前と言うよりも、とざんこくで水も薬に飲めない人がたくさんいるということであらたま、て分かり、何人の人がしんでゆくということも世にはたくさんあることが分かりました。中でもくるしんでいる人たちをたすけに行くMSFみたいな勇気な人たちがいたに私もなりたいです。バスや、電車の時、お年寄りがいたらすぐに助けたり声をかけたりできるようになりたいです。

日本と外国では水が飲める国はほとんどしかなく、飲めるとしてもおなか痛くなってしまうほど川の水や池の水は危ないので外国の人がかわいそうでした。

杉藤さんが話したことは一生使えて人の役に果たつことでもかんどうしました。今度お年寄りがいたらさうやって助けたいです。